

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学研究科 人間コミュニケーション学専攻 博士前期課程		
氏 名	片岡 美緒	学籍番号	0636006
論 文 題 目	WEB3D を用いたメディア教育のための e-Learning 教材開発についての研究		
<p>要 旨</p> <p>日本のインターネット利用人口が増加を続けている中で、WEB 上で教育を行う e-Learning が注目されている。「IT 新改革戦略」の中では、高齢者や若年無業者など、すべての人が学びたいときに学べる環境を整備していくための手段の一つとして、e-Learning を活用する方策を立てている。また、学校教育においても、子どもたちが IT を活用して効果的に学習できる環境の実現などが期待されている。</p> <p>また近年、様々な形のメディアの台頭により、メディア教育の重要性が急速に高まってきている。教育機関でも、数年前からメディア教育が行われるようになった。しかし、メディア教育というカリキュラムや教科書が与えられておらず、日本のメディア教育は、教師の熱意に頼っているのが現状である。また、教師一人一人がメディア教育教材を作り出すことの不能率さや困難さもこれまで指摘されてきた。</p> <p>以上のように、新しい教育環境である e-Learning と、重要性がますます高まるメディア教育は、それぞれに課題や問題を抱えている。e-Learning で用いる WEB というプラットフォームは、様々な形のメディアコンテンツを総合的に、かつインタラクティブに扱うことができる。そのため、様々な形のメディアを素材として扱うメディア教育にとって、e-Learning は最適な環境であると言える。</p> <p>そこで本研究では、WEB3D を用いて、動画撮影を基本としたメディア教育のための、インタラクティブな e-Learning 教材を開発した。具体的には、学習者がテキストと WEB3D 動画を見て動画撮影に関する基礎知識を学習し、仮想動画撮影を行うことができる教材システムと、指導者が教材を効率的に制作するための教材オーサリングシステムを構築した。また、教材となる学習内容を考案した。</p> <p>これまで、e-Learning 教材に使用するためのシステムはいくつか整っていたが、実際に e-Learning システムとして構築されていなかったため、今回教材システムと教材オーサリングシステムを構築し、さらに教材内容も作成したことにより、e-Learning 教材としての整備がほぼ整ったといえる。教材システムと教材内容は、「導入」、「展開」、「まとめ」という一般的な学習プロセスに沿った構成で作ることができた。また、教材オーサリングシステムを構築したことにより、教材の大部分を容易に作成することが可能になった。</p> <p>以上のことから、WEB の特性を生かした新しいメディア教育のためのインタラクティブな e-Learning 教材ができたのではないかと考える。</p>			